

「山口県立大学学術情報 社会福祉学部紀要 第 33 号」の編集について

2026 年 7 月 15 日

社会福祉学部紀要編集委員会

編集委員 勝井陽子・金吾燮・中村文哉

◇第 33 号

■編集方針

- ①提出原稿に対するチェックは編集委員会で行ない、提出原稿のカテゴリー等を検討する。
提出原稿のカテゴリーは、「論文」、「特別寄稿論文」、「研究ノート」、「報告」(実践・調査・実験などの研究報告)、「資料」、「翻訳」、「書評」とする。
- ②提出原稿にはカテゴリーごとに枚数制限(下記参照)を設ける。なお、編集委員会で認める場合はこの限りではない。
- ③本編集委員会は、投稿原稿の査読を、教員各位に委託することがある。
- ④「編集後記」は「社会福祉学部紀要編集委員」によるリレー形式で執筆する。
- ⑤退職教員に、投稿を呼びかけるための方策を検討する。

■投稿原稿の各カテゴリーおよび枚数制限

- ・「論文」＝400 字詰め原稿用紙 70 枚以内
- ・「特別寄稿論文」＝学外者による社会福祉学部開催の研究会・集会・講演会の原稿ないし講演録。
400 字詰め原稿用紙 70 枚以内
- ・「研究ノート」＝400 字詰め原稿用紙 30 枚以内
- ・「報告」＝社会福祉実践・保健医療実践・教育実践・その他社会実践・調査報告・実験報告などに類するもの。400 字詰め原稿用紙 20 枚以内
- ・「翻訳」＝原著者の翻訳の許可を得たもので、「解題」を付したもの。
400 字詰め原稿用紙 60 枚以内
- ・「資料」＝「解題」を付して資料を呈示したもの。400 字詰め原稿用紙 70 枚以内
- ・「書評」＝400 字詰め原稿用紙 10 枚以内

■「山口県立大学社会福祉学部紀要投稿内規」に定められた投稿有資格者以外の投稿

学外者との共著論文を投稿する場合には、共著者の筆頭執筆者が本学教員であることとする。また、編集委員会の承認を得たものに限り、本学部卒業生・本学大学院修了生・本学大学院在学生、ならびに本学以外の研究者・社会福祉関係者からの投稿を認める。

■投稿要領

- ①投稿希望者は 11 月 20 日(金) までに、投稿希望用紙に必要事項を記し、編集委員にメールにて提出する。
- ②本年度の原稿提出の締め切りは 2027 年 1 月 6 日(水) 17:00。厳守をお願いします。
- ③原稿投稿者は、現物原稿 1 部、電子データを記録した媒体、著者許諾書を編集委員まで提出する。
- ④投稿原稿は、未発表のものに限る。
- ⑤著者校正は、原則として、再校までとする。
- ⑥欧文タイトルに関しては、ネイティブ・チェックを受けることが望ましい。

- ①原稿印字は40字×40行とし、必ず頁数を記載すること。
- ②提出時の電子媒体（CD-ROM等）には、執筆者の氏名とタイトルを付すこと。
- ③書式(特に論文冒頭部分)は、基本的には「社会福祉学部紀要21号」に準じて記載すること。
 - ・最初の頁の左肩には、投稿論文の「カテゴリー」を記すこと。
 - ・投稿論文の「カテゴリー」を記した次の行に、論考の和文タイトルを付し、1行空けて、欧文タイトルを付す。
 - ・欧文タイトルから一行空けて、和文で氏名を記載する。姓と名の間は一マス空ける。その次の行に、欧文ネームを記載する。姓と名の間はダブルスペースをとる。
- ④和文による要約は、欧文ネームを記した行から一行空け、400字程度で記す。要約の最終行から1行空け、「キーワード：○○○、○○」として和文キーワードを5つ以内で記載する。
さらに一行空け、本文の冒頭タイトルを記載する。
- ⑤図表が入る場合には、原稿に、それらが挿入される箇所を的確に示すこと。
- ⑥参考文献・引用文献の一覧を作成する場合には、割注に対応して、氏名・発行年・タイトル……の順に記し、和文献のみの場合には「あいうえお順」、欧米語の文献が混じる場合にはアルファベット順に氏名を並べて、列挙する。
- ⑦外国語による要約を、論文末尾に記すこと。その際には、和文末尾から一行空けてから、要約を記し、その次行に欧文タイトルを、さらにその次行に右詰で欧文ネームを記し、1行空け「Keywords: 」として、欧文キーワードを5つ以内で記載する。次の行から、シングルスペースで欧文を記す。

「山口県立大学学術情報 社会福祉学部紀要 第 33 号」投稿希望用紙

■ 投稿予定者氏名

▼ 学外執筆者が加わる場合の氏名と所属先

■ 投稿原稿のカテゴリー

■ 投稿予定タイトル

■ 400 字詰換算での投稿予定枚数

____ 枚

■ 抜き刷希望部数

____ 部

2026 年 11 月 20 日締切